

## 事例1：撤去＋隣接橋に接続する道路の改良

### ○事業内容

・迂回路の「**交差点改良**」や「**道路拡幅**」を実施し、通行止めとなっている老朽橋を「**撤去**」

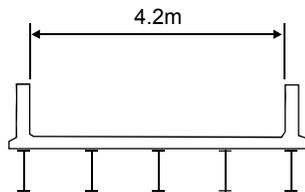
健全度Ⅳで通行止めを実施している中、もともとの交通量が極めて少なかったこと、隣接橋への迂回が可能であることから経済性と安全性の面から撤去の判断に至っている。

### ○撤去橋梁

・全景



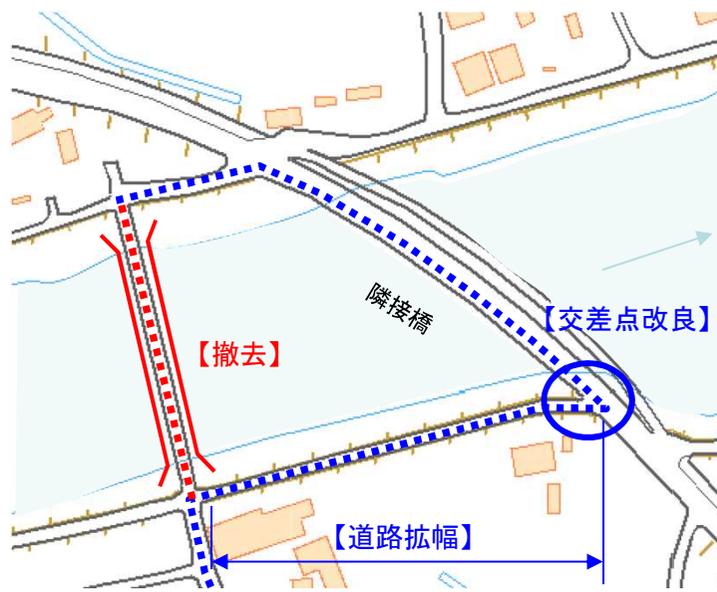
・断面図



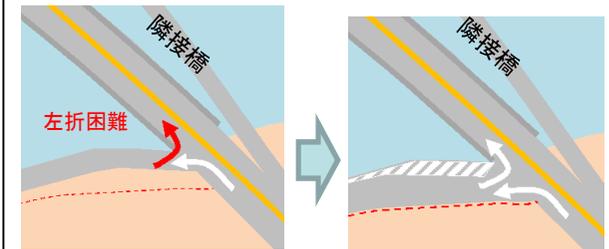
・諸元

項目	内容
橋梁形式	鋼橋
橋長	88 m
幅員	4.2m
供用年	1927(S2)年
点検結果	Ⅳ

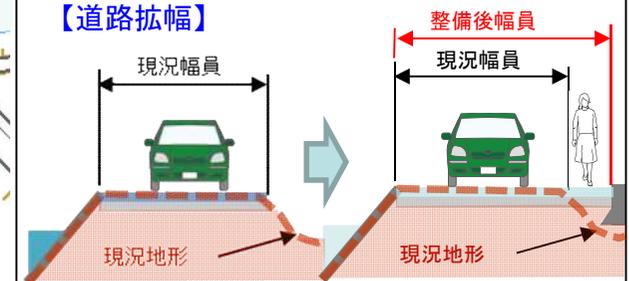
### ○集約化・撤去



### 【交差点改良】



### 【道路拡幅】



## 事例2: 撤去 + 隣接橋にアクセスする付替え道路を整備

### ○事業内容

- ・隣接橋を有する路線への「付替え道路」を整備し、通行止めとなっている老朽橋を「撤去」

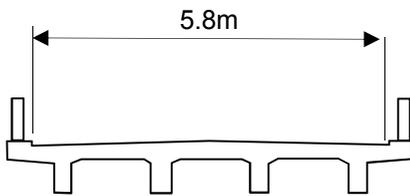
健全度IVで通行規制を実施している中、隣接橋を有する路線へのバイパス整備が問題なく実施でき、地元の利便性は変わらないということで、撤去の判断に至っている。

### ○撤去橋梁

#### ・全景



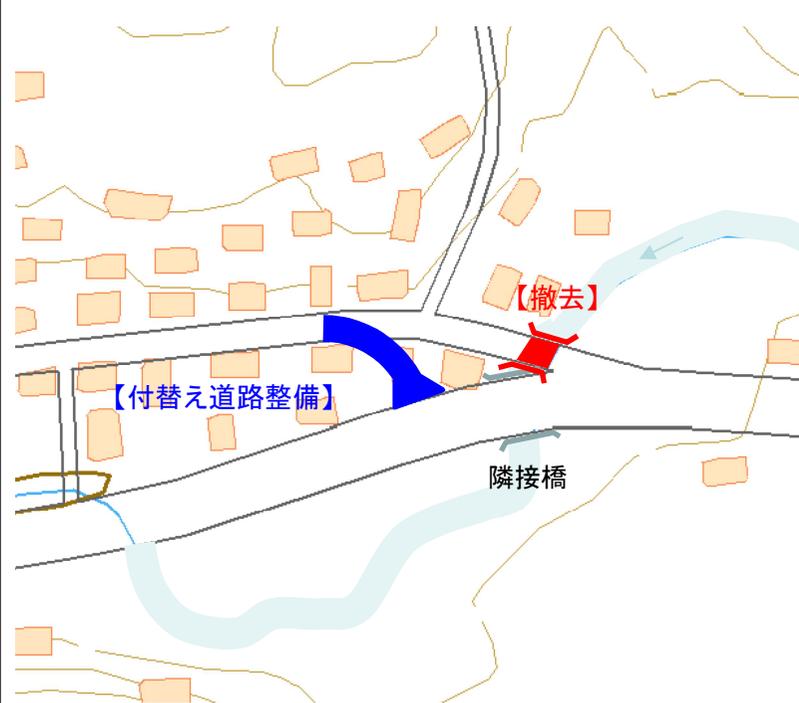
#### ・断面図



#### ・諸元

項目	内容
橋梁形式	RC橋
橋長	8.5m
幅員	5.8m
供用年	1962(S37)年
点検結果	IV

### ○集約化・撤去

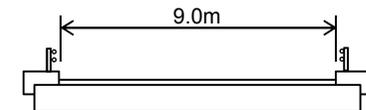


### ○隣接橋

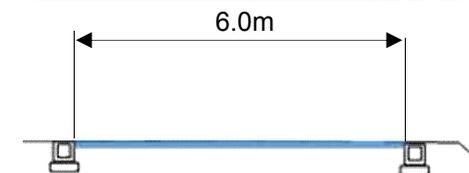
#### ・橋面



#### ・断面図



#### 【付替え道路整備】



## 事例3:隣接する2橋を1橋に集約

### ○事業内容

・老朽化が著しい隣接した2橋を「撤去」し、「迂回路整備」と併せて1橋を「新設」して渡河機能を集約

老朽化に加え、幅員が狭く、スクールバスや緊急車両が集落に入れないという問題があった。そこで、架け替えに併せて拡幅を検討していたが、現道での拡幅が困難であったことから、迂回路を整備し、上流側に新設する判断に至っている。

### ○撤去橋梁①



#### ・諸元

項目	内容
橋梁形式	PC橋
橋長	12.9m
幅員	3.8m
供用年	1933(S8)年
点検結果	Ⅲ相当

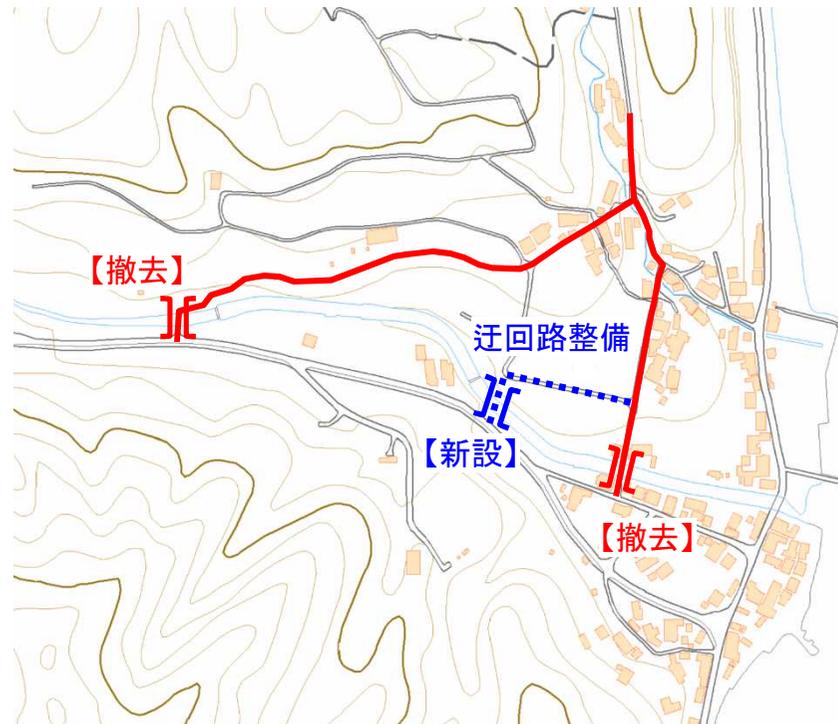
### ○撤去橋梁②



#### ・諸元

項目	内容
橋梁形式	RC橋
橋長	12.3m
幅員	2.7m
供用年	1935(S10)年
点検結果	Ⅳ相当

### ○集約化・撤去



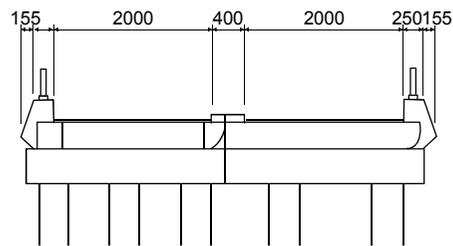
## 事例4: 車道橋を人道橋にダウンサイジング

### ○事業内容

- ・通学路に指定されている老朽化が著しい車道橋を人道橋に「ダウンサイジング」

車両の交通量は少なくなかったが、その大半が渋滞する道路の抜け道として利用されていた。そのため、地元から「歩行者にとって危険であるため、車両の通行を制限してほしい」旨の要望もあり、人道橋へダウンサイジングする判断に至っている。

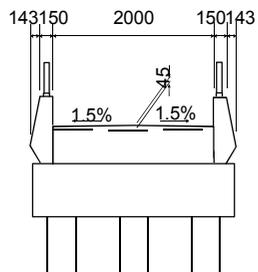
### ○ダウンサイジング前(車道橋)



項目	内容
橋梁形式	RC橋
橋長	37.8m
幅員	約5.0m
供用年	上流側1970(S45)年 下流側1960(S35)年
基礎形式	上流側:鋼管杭 下流側:既製RC杭
点検結果	Ⅲ相当



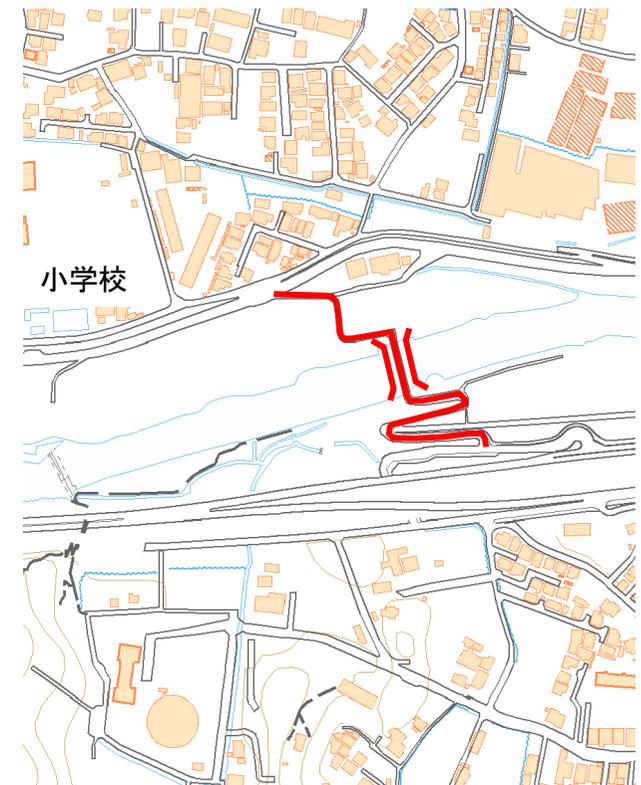
### ○ダウンサイジング後(人道橋)



項目	内容
橋梁形式	RC橋
橋長	37.8m
幅員	2.59m
供用年	上部工:平成27年 下部工:昭和35年



### ○集約化・撤去



## 事例5: 単純撤去

### ○事業内容

- ・高速道路を跨ぐ老朽橋を「撤去」し、横断する機能を隣接する横断ボックスに集約

従来は木材搬出用に利用していたが、時代の変化に伴いほとんど利用者がいなくなっていることから、コンクリート片の剥落等の第三者被害リスクを後世に残さないために撤去の判断に至っている。

### ○撤去橋梁①



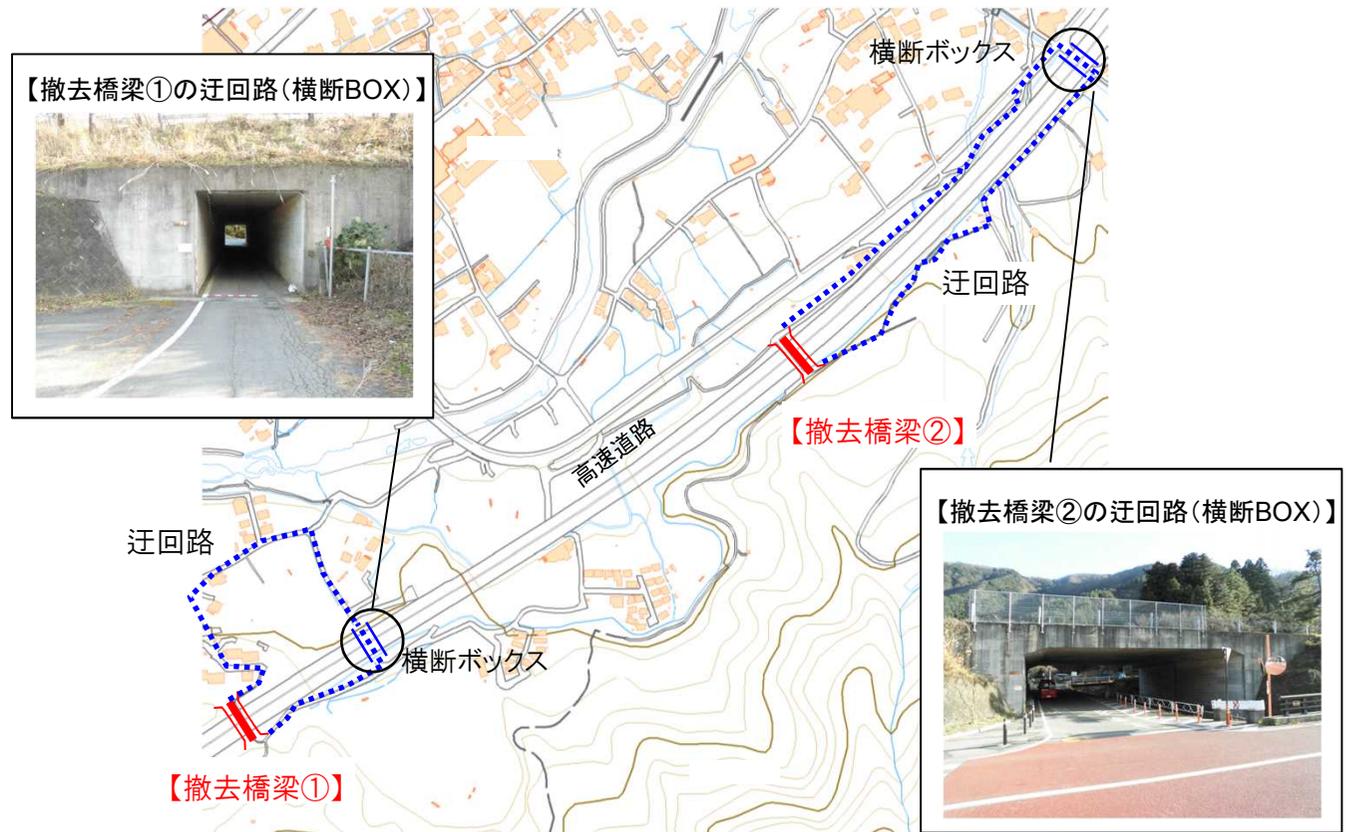
項目	内容
橋梁形式	IIラーメン橋
橋長	40.9m
幅員	3.0m
供用年	1966(S41)年
点検結果	II相当

### ○撤去橋梁②



項目	内容
橋梁形式	IIラーメン橋
橋長	40.1m
幅員	3.0m
供用年	1969(S44)年
点検結果	II相当

### ○集約化・撤去



## 事例6: 撤去＋隣接橋の補修

### ○事業内容

・迂回路となる隣接跨道橋の「**橋梁補修**」を実施し、老朽橋を「**撤去**」

農耕者等の横断用として利用されている跨道橋について、老朽化し、また利用者も多くないことから、高速道路の安全性と経済性の面から撤去し、迂回路となる隣接跨道橋を補修の上、機能集約する判断に至っている。

### ○撤去橋梁

・全景



・橋面

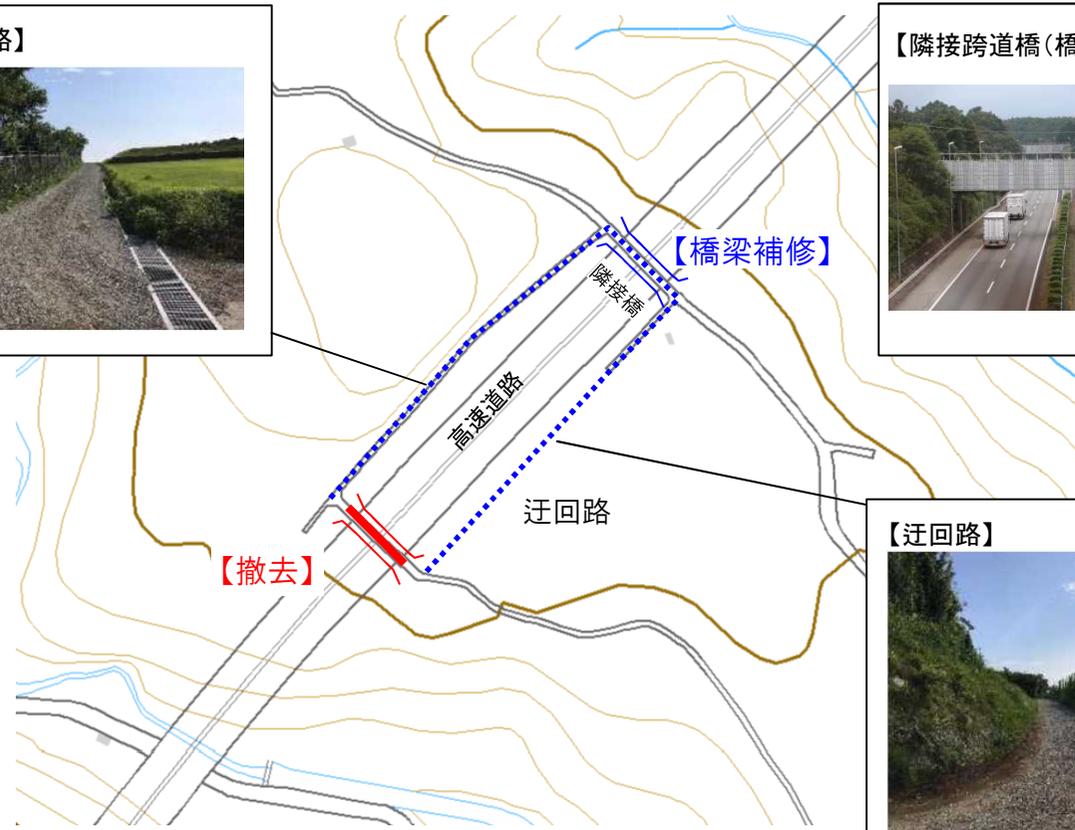


・諸元

項目	内容
橋梁形式	PC斜材付π型ラーメン橋
橋長	47.2m
幅員	4.7m
供用年	1968(S43)年
点検結果	Ⅲ

### ○集約化・撤去

【迂回路】



【隣接跨道橋(橋梁補修)】



【迂回路】



【撤去】